

5. 作動油の点検と補給

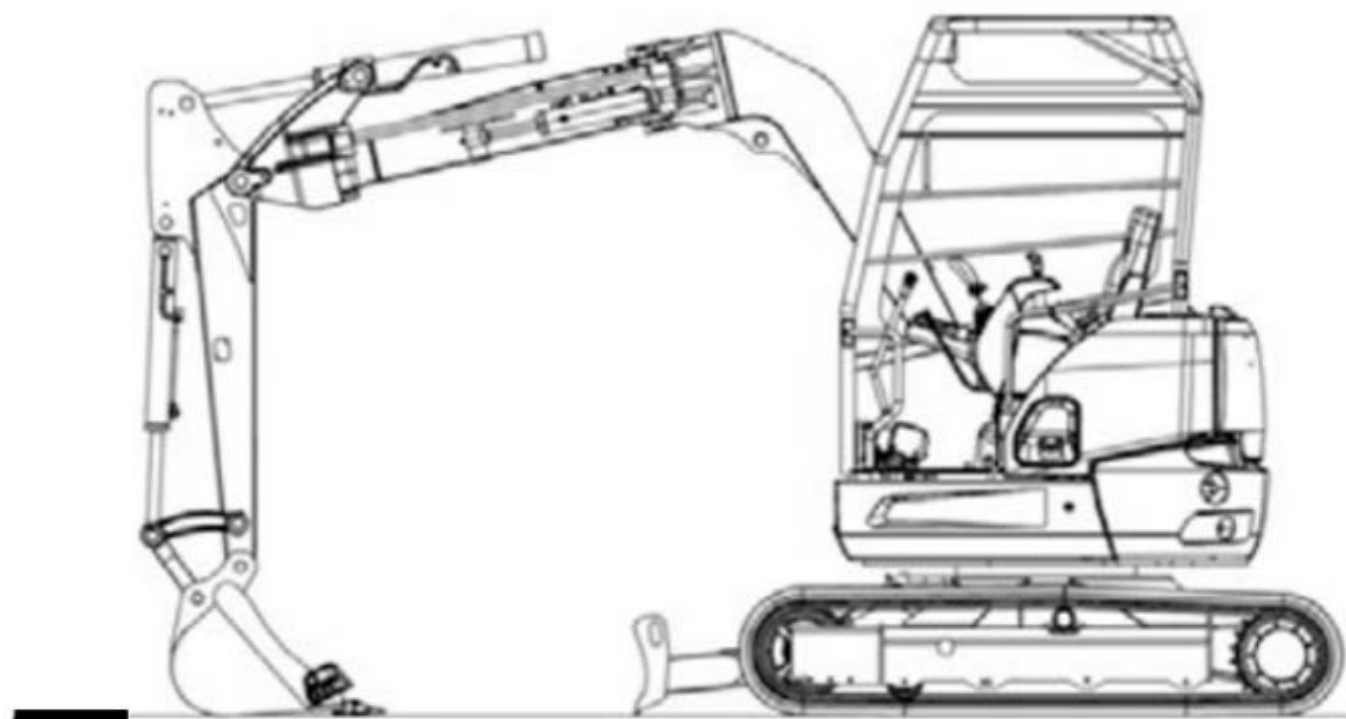
警告

- 作動油タンクの給油口を外すときは、油温が完全に下がってから外してください。油が噴出し、ヤケドをする可能性があります。
- エンジンを停止して、給油キャップをゆっくり開けてタンクの内圧を抜いてください。

重要：

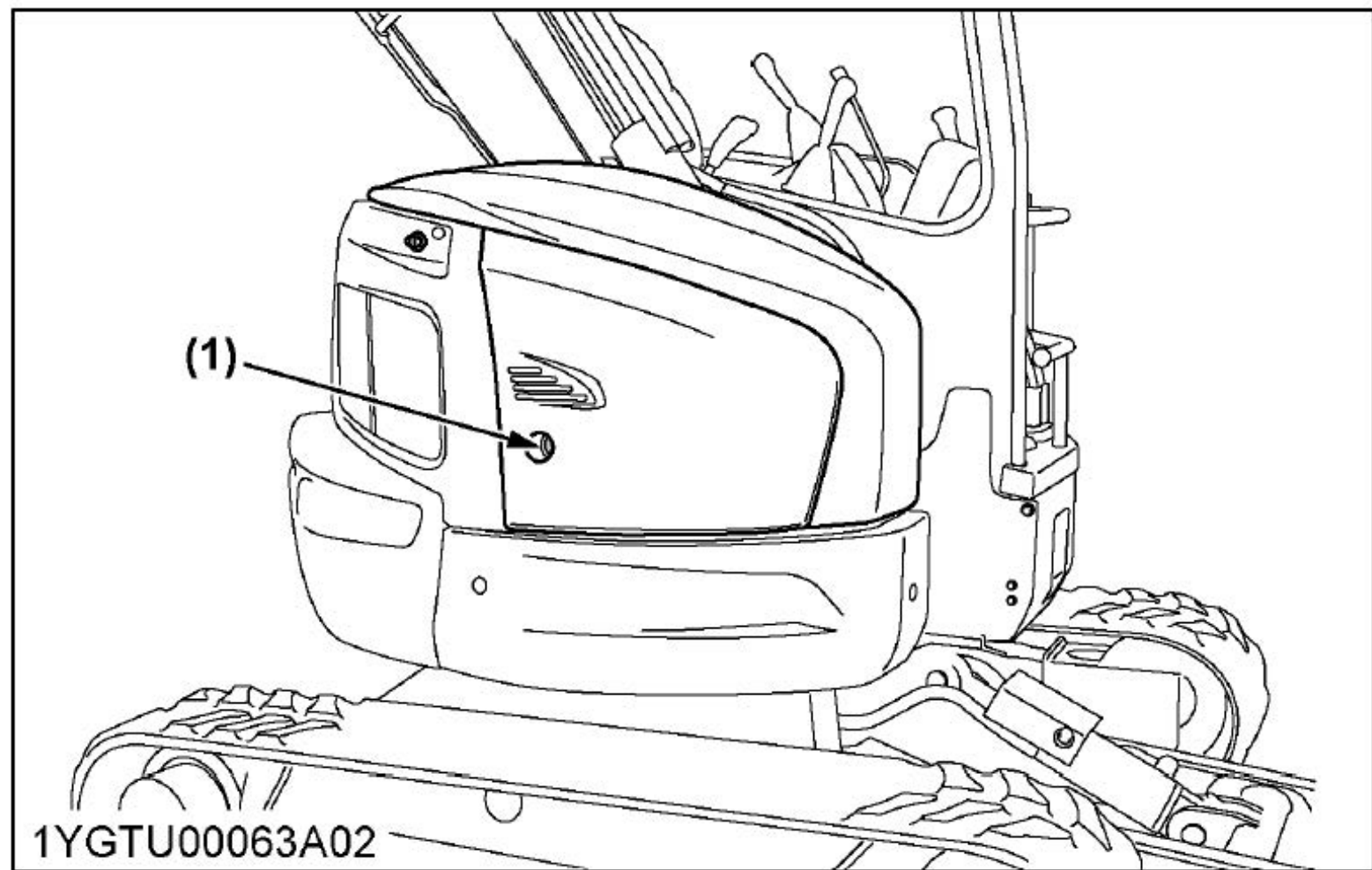
- 補給する場合は、付近の砂やゴミをよくふき取り、必ず同一銘柄の作動油を使用してください。工場出荷時の作動油銘柄は、推奨オイルとグリース一覧表（133 ページ）を参照してください。絶対に他銘柄と混合しないでください。

1. 機体を水平な所に止め、各シリンダのロッドをほぼ中央まで伸ばし、バケットおよびブレードを地面に接地させます。



1YGTU00079A01

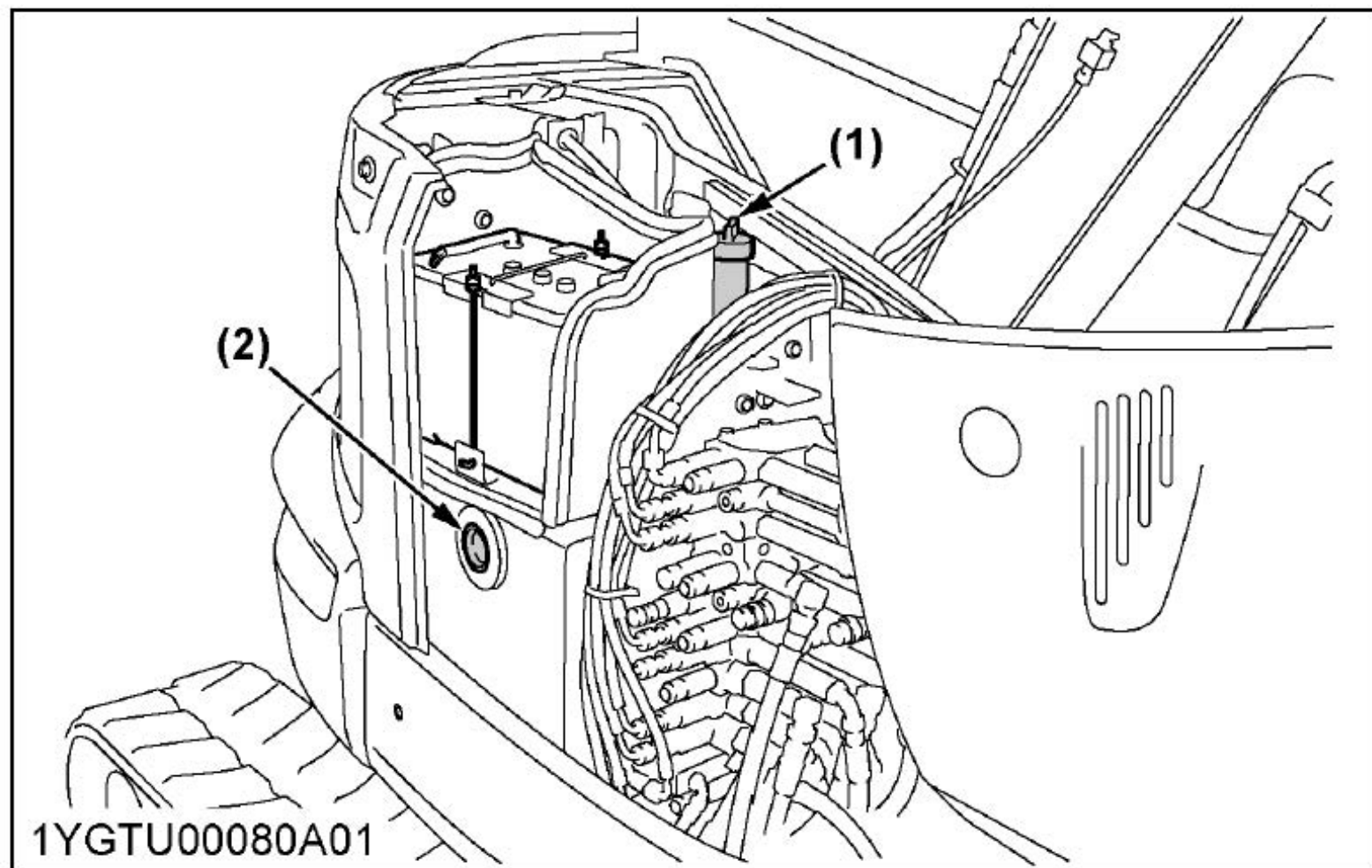
2. 作動油が、常温（10℃～30℃）において油面計の中央になっているか点検します。
油面計の中央にあれば正常です。



1YGTU00063A02

(1) 油面計

3. 不足しているときは、給油口より補給します。



(1) 給油口

(2) 油面計

4. 作動油に水などが混入したときは、全量交換をします。

(全量交換の詳細は作動油、および作動油サクシオンフィルタの交換 (112 ページ) を参照)

作動油オイル交換容量

全油量 55 L
(オイルゲージ中央 : 35 L)